

令和5年4月26日

令和5年度 八峰白神ジオパーク推進協議会総会
議事録

- 1 開催場所 八峰町役場 大会議室
- 2 期日 令和5年4月26日(水) 9:30~11:00
- 3 出席者
会長 堀内 満也
副会長 山崎 典康(白神ネイチャー協会 会長)
副会長 太田 治彦(八峰町観光協会 会長)
監事 田村 真也(白神八峰商工会 ※小玉 育宏の代理)
団体会員 鈴木 洋一(八峰町教育委員会 教育長)
大和 和也(秋田やまもと農業協同組合八峰支店 支店長)
門脇 哲也(秋田県漁業協同組合北部支所 支所長)
佐々木正憲(八峰町文化財保護協会 会長)
小沢 悟 (八峰町芸術文化協会 会長)
加藤 知徳(八森郵便局 局長)
須藤 徳雄(岩館第2自治会 会長)
個人会員 鈴木 悟
事務局 山本 望 木藤 誠 三輪 拓磨
- 4 案件
 - 1) 議案第1号 令和4年度事業報告
 - 2) 議案第2号 令和4年度収支決算報告
会計監査報告
 - 3) 議案第3号 指摘事項に対する行動計画(案)
 - 4) 議案第4号 令和5年度事業計画(案)
 - 5) 議案第5号 令和5年度収支予算(案)

【堀内会長あいさつ】

おはようございます。

まずもって、本日は大変お忙しい中、八峰白神ジオパーク推進協議会の総会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。そしてまた皆様には日頃より町政の推進に対しまして格別のご理解を賜り、この場をお借りして感謝を申し上げます。

皆様ご承知の通り、この八峰白神ジオパークは、昨年再認定の審査を受けたところであり

まして、昨年の12月16日付で再認定、合格とした通知を受け取りました。総評によりまして、これまでの指摘事項をほぼ解決したということですので、そこを評価されたということではありますが、新たな指摘事項も追加で出されています。町としては新たな課題についてしっかりと対応をしていきますとともに、さらにそういった事項につきましてもジオパーク活動を行っていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。そしてまた来月からは、コロナの感染症の分類が5類に緩和されることになりまして、アフターコロナを見据えた観光振興というのがもっと大事になるだろうと考えております。

そういった中で私の公約にも、「世界遺産白神山地とジオパークを核とした国内外からの観光客誘客に取り組みます」と掲げています。町としましては公約をきちっと達成するためにも、しっかりと皆様と連携しながら進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様からのご指導を賜りますようお願い申し上げます。

今日は、令和4年度の事業報告、そしてまた令和5年度の事業計画案を審議してもらうこととしております。皆様からは忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。私からのごあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【1）議案第1号 令和4年度事業報告】

【2）議案第2号 令和4年度収支決算報告】

1) 1. 運営

2. 保全・研究

3. 教育・防災

4. ツーリズム

5. ネットワーク活動

2) 1. 令和4年度収支決算

会計監査報告 監事より報告

(小玉育宏監事の代理として田村真也から監査報告書読み上げ)

令和4年度八峰白神ジオパーク推進協議会会計収支決算書に関する一切について、令和5年4月25日に監査し、適正と認める。

≪質疑応答≫

会 員～基本的なことで、監査の持ち方のことなんですけども、役員の選出というのは団体名の会長なのか、そこの団体の中で決めるのか。この会の規約には、会長、副会長、監事は総会で決定する。ですから、今日の会議で5年度の監事なり、会長なり副会長なり、ガイドの会の会長が監査をやるべきなのか、という疑問です。いや違うよ、これは名前であって役職では無いんだ、とするとこの総会で決めなくても会の会長さんが変われば自動的に役員も変わるのか、ということを示していただければと思います。

事務局～こちらでも内部で話をしまして、基本的に会長さんが就任されるということで、今回新しい会長さんに監査をお願いしたところです。ですので、会長さんが変わられた場合はその都度、こちらの会員さんも変わる、でお願いしたいと思います。

会 員～そういう解釈なんですね。本来は違うと思いますが了解しました。

会 長～他にはありますでしょうか。

会 員～ガイド養成の中で、新しいガイドの人から聞いたんですが、湯沢のジオパークの視察研修が3月23日。この日、町内のバスツアーでした。新人のガイドの人たちにも参加してほしかったけれども、だぶっていた。6人のうち4人参加して、引率が2人で10時に出発して午後から湯沢を視察して夕方まで視察して1泊して、次の日朝イチで帰ってきた、と聞いてるんですが、これ、もうちょっと早く出発すれば日帰りで済む研修だし、もし泊まるのであれば次の日、朝イチで帰らずに、学習活動に向かえば良かったらうし、予算が余ってたのであれば、湯沢の方にはわれわれ、古い方のジオガイドの人たちもいたので行ってもよかったですし、その辺、計画がグダグダな計画じゃなかったのかと思うので、その辺どうなったのか教えてほしいです。

事務局～湯沢のジオパーク研修は養成講座の一環として行ったもので、新しいガイドさんたちの研修、それから親睦を深めるということで行ったものになります。バスツアーと日程がかぶってしまったことについてですが、先にゆぎわジオパークの日程を決めまして、その後バスツアーの日程が決まったんです。で、その時点で養成講座を受ける新しいガイドさんたちは、一度春にバスツアーに参加したことがある方がほとんどということで、改めて参加する必要はないんじゃないかということで、被せても問題ないだろうということで、その日程で行いました。日帰りでできるという話もありましたが、せっかく行くことですし、1泊して親睦を深めながらということで計画したものでした。コロナの関係で他のジオパークを見てきたいという話もあったんですけど、(中断)

会 長～去年の総会でもともとその計画はあったんですか。

事務局～総会の段階では出していません。養成講座の中に、他のジオパークの視察というのは、1回目の時もやっていますし、当然メニューとしてはあったんですが、日程が被ったというのは、今話したのもありますし、できれば被らないほうが当然よかったかな、というのは思います。そこは申し訳ないな、と思います。前回は男鹿に日帰りで行ってこれたので良かったんですけども、今回は湯沢ということで遠いですし、(ガイドに)新しく入ってくる方々なのでその方々の懇親も兼ねて、という形で1泊にさせていただいたところです。

会 員～朝イチで帰ってきたというのはどういう理由だったんでしょうか。

事務局～今度男鹿の方にも行きますけども、博物館がありますが、高速道路で帰ってくるという関係で、ちょっと立ち寄るとなれば遠回りになってしまうという関係でその

日は立ち寄らずに帰ってきました。

会 員～高速道路に乗ったので寄れなかったと。

事務局～そうです。

会 員～実際、さっき養成講座の一環という話ですけども、養成講座の中で既存のガイドとのふれあいの機会とかそういうのを入れていかないと、実際今回新しくスタートして連絡とるときに、相手の顔もわからずに連絡する。また向こうがこっちのことをわからずに、ということで、なかなか一緒に行動していくのにスムーズにいかないという状態。やはり養成講座の中で、せっかくの中で最初の頃は参加させてくれたりしたんですけども、最後になってきたら全く既存のガイドの方とは関係がなく、会長の方は講師で行ってみたいですけど、やはりもったいないと思うんですよ。最後の最後に顔合わせみたいなのが1回ありましたが、その時参加しない人は顔合わせできない。未だに顔がわからない人が、名前がわからない人がいる状態なので、養成講座をするときはそのあたりを気をつけて運営して欲しいと思います。

事務局～わかりました。2回目ですのでさまざまな意見あるでしょうし、そういった意見も出していただいて今後の養成講座の方で直しながら進めていければと思いますのでよろしく願いいたします。

会 長～この後説明しますが、今年は養成講座は無いんですね。

事務局～はい。

会 長～他に無いでしょうか。よろしいでしょうか。

会 員～収支決算の中の普及啓発活動費の高校生活動の内容、書いてるところが見つかることができなかつたんですけども、内容について教えてもらえませんか。

事務局～大変失礼しました。教育活動の中に書けばよかつたんですけど、資料の方に記載がなかつたです。能代高校生が八峰白神ジオパークを探検したいということで、電車で東八森駅まで来られて、そこから八峰白神ジオパークを見学というか勉強をしたものになります。

会 員～何人参加で何回行ったんでしょうか？

事務局～1回なんですけど、2クラスだったか・・・。

会 員～7月20日の能代高校理数科、2年生22名、1回だけですね。

会 員～何か感想とかはあったものですか。

事務局～報告書が届いております、後で報告します。

会 員～こういう意見が、とかわかれば。

事務局～能代高校の学生さんは八峰町出身者じゃない方も当然いますので、「こういうところもあったんだ」という生徒さんの感想というか意見がありました。

会 員～ありがとうございました。

会 長～能代高校だけだったんですか。

事務局～これは、能代高校さんから話があって、(中断)

会 長～毎年やってるんですか。

事務局～3年ほど前から毎年やってます。

会 長～毎年。で、能代高校。

事務局～そうですね。

会 員～すいません。今に関係してですけど、2つです。1つは530,000円の内訳で、ストラップにいくらかかかって、高校生の活動にどれくらいかかっているのか。こうやって向こうから意見とかあったのであれば、参加したガイドとかガイドの会の方にそれを反映してもらえなかったのは残念だな、と。

事務局～報告書に関しては先週届いたものなので、まだ共有はしてませんでした。お金に関してですけど、ストラップと一緒に小学校の新一年生に配る「お名前シール」というのも作ってまして、それとストラップを合わせて495,000円です。高校生の活動に関しては、こちらでバスの料金ですとか、ガイドさんのガイド料をお支払いします。ガイド料が18,000円、町のバスを利用した料金については8,580円です。

会 長～よろしいですか。

会 員～はい。

会 長～他には。よろしいですか。(「はい」の声あり) それでは議案第1号、第2号について原案どおり承認にご異議ございませんか。(「はい」の声あり) 異議はありませんということで、議案第1号令和4年度事業報告、議案第2号令和4年度収支決算報告については承認されました。次に議案第3号、指摘事項に対する行動計画(案)について事務局から説明をお願いいたします。

【3】議案第3号 指摘事項に対する行動計画(案)

事務局より総会資料を基に説明を行う。

《質疑応答》

会 員～これは4月14日に運営委員会で協議したものを出した、という説明でしたけども、今回のジオパークの審査の時にも質問したんですけど、審査員が見に来るのは4年後です。4年間の間にどういうことをしていこう、と。で、このアクションプランというのは、ほとんど、というか全部、審査員が指摘した目標についてだけ書いている。ということは、それ以外は何もしない、という計画なんです。審査員は指摘した事項がどうなっているのかを確認する。それ以外に独自にどういうことをやっているのかを見に来るはずなんです。この中にはそういうことも入れた計画書を作らないと。これだと全く魅力のない、言われたことをそのままやってるだけの計画になると思うんですが、こんな計画でいいのでしょうか。

事務局～まず、行動計画(案)というのは指摘事項に関してどういうことができますか、という内容のものなので、これで良いという判断です。で、今お話しされたそれ以外

のことをやっていかないのか、というそうではなく、これは、指摘事項に関してのこちら側の回答の案です。当然それ以外についてもガイドの会の皆さんと一緒にやっていったり、ということは当然進めていきますので、この行動計画（案）はそういう形態のものだ、ということをご理解願いたいと思います。

会 員～それ以外については計画のどこになりますか。

事務局～昨年度、基本計画というものを策定しまして、ホームページ上に公開しておりますので、その基本計画に基づいて進めていくことになります。

会 員～もう一ついきます。内容に入っていきますけども、例えば、一番最初に出ている「地質図の活用と作成」とありますよね。これに関して計画を見ると、アドバイザーと一緒に地質図を作っていくという感じで、9ページの対応手順の2番目のところに地質図作成講座、（仮）と書いてますけども、3回程度実施する、と。それを今年度中に3回やって、3回の中で作るのか、その後で作るのかわかりませんが、作るみたいなことを書いてあるんです。でも、これは早急に作ってみんなでこの地質図を使ってガイドしていきなさいよ、という指摘だと思うので、そうなればもっと急いで作らなければいけないし、去年、僕は手作りで自分で、まだ未熟ですけども地質図を作ったんです。で、それを使ってバスガイドをしたんですけども、そういうのを専門家に見てもらいながら相談しながらやれば1回か2回できちゃう内容だと思うんです。他のジオパークのものを参考にしながらやりなさい、と言っていましたけど、湯沢に行ったときに地質図の資料とかもらってきたんですか。集めてるんですか。そんなことをこんな仰々しく書かなくてやろうと思えばすぐできることを、なぜ長ったらしく書いて、で、それを使って、2023年からではなく2024年から使って、養成講座とかガイド技術を確立するみたいなことが書いてるけど、作って、使って、やってみてまた作り直して、という繰り返しになるはずなんです。計画だからしょうがないと言うかもしれないけど、計画書を作るための計画、みたいな感じの内容になってないか、ということを僕は見て思いました。例えばこの中で「地球科学的専門性の担保」で、専門家を雇いなさい、好ましいからやりなさい、と指摘があって、さっきの説明の中では専門家を雇うのは難しいからと言葉では言いましたけども、文章の中では地域おこし協力隊の活用や協議会での雇用など、と考へてる風に書いてあります。なのに、この計画書の中には、もう雇用のところは白で下にアドバイザーの助言を求める、ということを書いてあるわけですけど、結局、2023年から2024年と2025年から2026年まで同じ、ただコピーして書いてだけですよ。ということは、このことを本格的に検討してるのかどうなのか、ということにはならないような気がするんですけども、その辺はどうなんでしょうか。

事務局～地質図に関しては糸魚川ジオパークさん。調査員で来てくださった小林さんが糸魚川ジオパークですので、そことやり取りをしているところです。糸魚川ジオパー

クさんの方では、町で使っている、うち(町)でいうとパスカルと言うんですけど、町の土地情報が書かれたデータに地質情報を上乗せして使っているということでした。

ゆざわジオパークさんでも地質図があって、それをガイドさんとか地域の研究者の中でまとめてわかりやすく使う、という活動をしていまして、そのデータはいただいていますので、そういうものを参考にしながら地質図作成講座(仮)のようなものを作っていきたい、と考えております。

地質図に関しては早めに作って進めればいいんでしょうけども、なかなかそう簡単にできるものでもないのかな、という形でこの計画になっているわけです。言われるように、早めに作ってそれをガイドの方々と共有して、というのを当然やるべきものではあるので、進めていきながらそういう形になっていければ、という感じはします。

会 員～議案第3号というのが総会の議案として適しているのかどうか、ということなんです。総会というのは各団体の代表の方々が来ているわけです。前年度の事業報告、それから決算、それから大元の事業計画と予算を審議するものであって、これを、会長と言われる方々が協議して中身まで行けるのか、〇〇さんは中身に細かいところまでわかっているからいいけども、他はついていけるのかどうか、というのがあるので、これは総会ではなく違う何かの場をつくって、あっちからこういうものが来たのでこういう形で解決したい、という案ができたのでちょっと見てもらえませんか、という会があったほうがいいんじゃないかと思います。

事務局～先ほど説明した通り、運営委員会を開いて一度見てもらって、その意見を取り入れた形のものなんです。前回の指摘事項に対する行動計画に関しても、総会に出して総会の方で「これで出していいですよ」という了解を出してもらったうえで(行動計画を)出す、という形になっています。

会 員～運営委員会のメンバーは誰ですか。

事務局～運営委員会は会長が指名することになっているんですけども、メンバーは、白神ネイチャー協会会長さん、白神ガイドの会会長さん、白神八峰商工会事務長さん、生涯学習課長、白神体験センター所長、町内の小中学校の校長先生、秋田やまもと農業協同組合八峰支店長さん、県漁協北部総括支所長さん、八峰白神ジオパークガイドの会会長さん、文化財保護協会会長さんの合計12人で構成しています。

会 員～そのメンバーを聞いても、専門の人は誰もいないので、そこで練って作り上げるのは無理なんじゃないかと。普段ジオに接していない人が半分くらいいる。

事務局～まず、行動計画ですので、先ほど〇〇さんがおっしゃったのについては、やりながらでもできるのかな、と。とりあえずこの形で進んで行っていいですか、ということを知っているの、その中で直していきながら良いものに進んでいければいいのかな、という感じはしているところです。

会 員～今までの体制でジオの活動を続けていくのは難しいんじゃないか。僕はジオで参加して発言したいと思っているけども、発言できるのがなかなか無いし、普段の活動でもなかなか事務局と話し合っってやっていくことができない。例えば、我々が無料ガイドをやっているからといって、事務局の人が見に来たわけでは無いです。現場にほとんど来ない事務局と我々がどうやって話をしているんだ、と。そういうところから直していくべきじゃないかと僕は思っています。

会 長～運営委員会の方をもうちょっと拡げていくべきかもしれないですね。

会 員～今日じゃないとこうやって発言する機会がないので、皆さんを無視した形で話をしていますけども、やはり危機感を感じているわけです。ジオってすごく大事なことで、町にとっても大事なことなので、もっと活発にやっていきたいと思って、いつも空回りしている感じで、そうじゃないような形にしてほしいと思っているわけです。よろしくお願いします。

会 長～この行動計画案はいつまで（提出）ですか。

事務局～結果が出てから半年以内ということなので、6月くらいまでです。

会 長～もう一度運営委員会で意見を出させていくのも大事かと。総会の（議決）が無いとダメですかね。

事務局～それは大丈夫です。（行動計画案は）総会で決めたほうがいいと思ったんですけど。

会 長～4年前はそうだったのですね。それに倣うということなんですけど、〇〇さんの言ったように運営委員会で決めてもいいと思いますので、そうしましょう。

会 員～関連です。ジオパークのツアーというか、見に行く機会がなくて、かつては年1回くらい案内が来ていたと思うんですけども、1回は参加できなくて、1回はどうしても都合が合わなくて行けなかったんですけども、このメンバーでも運営委員会でもいいんですけども、年に最低1回は見に行つて説明を受ける機会が欲しいなと思います。年に1回でも都合がつかなくて行けないとなると知識的にだんだん遅れていくので、高校生でも小学生でもいいので、その時に一緒に来てくださいでもいいので、年に1回は参加できるチャンスといいますか、そういう機会があればありがたいな、と思っています。何かしらと抱き合わせていける機会があれば、自分は年に1回は行つてみたいと思うので、その辺検討していただければ、と思います。

事務局～〇〇さん、バスツアーは年に何回予定しているんですか。

会 員～今年は6回くらい。

事務局～そういう情報提供をこちらで。5～6回は実施する予定なので。

会 員～広報には掲載されるんですか。

事務局～掲載されます。

会 長～広報に掲載されているから良い、ではなくて周知をお願いします。

事務局～わかりました。

会 長～それでは議案第4号、令和5年度事業計画（案）、議案第5号、令和5年度収支予算（案）について関連しますので一括して事務局から説明をお願いします。

【4）議案第4号 令和5年度事業計画（案）】

【5）議案第5号 令和5年度収支予算（案）】

事務局より総会資料を基に説明を行う。

《質疑応答》

会 員～現在、ガイドさんは何人くらいいらっしゃるのでしょうか。

事務局～ガイドは18人です。

会 員～18人ですか。満足している人数、ということでしょうか。

事務局～隔年で養成講座をやっていますが、募集があまり少なすぎても養成講座ができなくて隔年ということにしています。最初やった時12人養成して、最初応募があったのが8人なんですけど、2人途中で脱落してしまい、6人新しく養成した、という形になります。多ければ多い方が良いと思いますが、なかなか養成するのが、人数を増やすというのは難しいです。

会 長～他にありませんか。

会 員～昨年の再認定審査時に雑談で非常に盛り上がったんですが、何かというと、お爺さんお婆さんには危ないところを教え、子どもたちにも危ない事を教え、そして、さらには、お爺さんお婆さんからは、昔、あそこに化石があったんだよね、とかいうような、その場であってほしいということもあったんです。で、私と〇〇さんと「そうだそうだ」ということで、それに関連して、③番の教育防災の件ですけども、この中に生徒・子どもさんの話が出てきますが、高齢者の方のお話が出てきませんので、できれば冬場でもいいですし、夏場でもいいですし、高齢者、自宅においでになる方に公民館に来ていただいて、昔の話をすると思いますので、お茶を飲みながら、お菓子を食べながら、憩いの場にしながら、ジオパークでやってるんだよ、という、八峰町にはこんな見どころがあるんだよ、ということを展開していただければいいのかなと思ってました。

事務局～ありがとうございます。ちょっとこちらの方で検討してみます。

会 員～少し余計に忙しくさせるようであれば早急に、ということではないので、何年か継続した計画でもかまいませんのでよろしくをお願いします。

会 員～2つです。まず一つは、先ほど言ったようにジオガイドが18人となって、今まで12人で6人増えました。ただ、12人の中でも日中、自分のような年金生活者は何人もいなくて、平日出て歩ける人は少ない、勤めがあったり朝早いし、ということでバラバラなんです。けっこう地元の人が少ないので能代とか秋田とか遠くから来てるものですから、なかなか参加できないとかという場合もあります。そういう意味では、無料ガイドとかやっても、去年なんかは本当に一人二人くらいしか集ま

らなくて、四苦八苦しなからやっていたような状態だったんで、今年からまた別な方法で、人数も増えたことなんでこれからやっていくことになるんですけど、ガイド養成講座って2年に1回なんです。予算もかかるし手間もかかる。講師を呼んで、年に2か月に1回くらい。だけど、それって今いるガイドの人のいない講座なんです。体験してみたい、例えば、ジオガイドを案内する人は先輩が後輩に教えたほうが良いわけですよ。そういう時に参加しなければいけない先輩は、逆に言うと頑張らなければいけないわけですから勉強もするし、去年も言ったんですけど、普段の、1年間の活動の中でけっこう勉強会とか講師を呼んでの勉強会とかって、今いるガイドがやりたいわけです。養成講座の時は新しい人だけやって手間をかけている。だったら毎年やって、養成講座の中では今までのガイドも一緒に勉強できるような内容にしていけば、同じ予算使って効果もいいし、ガイドが増えて楽しそうにやっていたら応募する人も増えてくるという相乗効果もあるので、2年に1回で限らないで今後検討してみたらどうか、というのが一つです。あともう一つ、ガイドの会ができてまだ2年、今度3年目になるんですけども、3年間やったら今度は自立しなさいという最初の作った時事務局から言われました。「ガイドの会自立しなさい」という、その3年間は面倒見ます、ということでおんぶにだっこでやってもらっていたわけですけども、現実的に独立するとなると、専任の人が必要になってきます。われわれガイドが、ガイドで1年間で稼ぐのが30万から40万くらい。その1割を保険代とかにすればまったく利益が出ていない。そういう会が独立してやっていたらいいのかどうなのか、というのをちゃんと考えたうえで3年後ということをしたと思うんですけど、この会からガイドの会に対する補助金とか、体制の組み換えについてとか、そういうことを決めていかなければならない1年だと思うんですけど、その辺についてどのようにお考えかをお聞きしたいです。

事務局～まず、ガイド養成講座の方ですけども、けっこう専門的なところもあるので毎年やってもなかなか参加者が集まらないだろうというところで、まず2年に1回やりましょう、という形で進んでいるところです。ガイドの人たちもそれに参加したい、という声は非常にわかるんですけども、新たなガイドを養成する講座ですので、どの講座に今のガイドの人たちが参加していけるかというのは、今後の検討が必要かな、という感じはしています。新しいガイドの人たちが主なので、こちらのほうが優先だということをご理解願いたいと思います。ガイドの会の自立に関してですけども、今回3年目です。最初作るときに、まず、3年でがんばって独立して活動できるような形でお願いしたいというような話をさせていただいたところです。それについても、今、来年に向けて話し合いを進めているところと理解しています。補助金であるとかは、ガイドの会の収支がどのくらいあって、どのくらい足りないの必要ですよ、という形で要望を挙げていただければこちらで検討は、

上げるとはすぐに言えませんが、検討はできると思いますので、ガイドの会の方で考えていただければありがたいな、と、思っているところです。

会 員～養成講座は昨年度、何回やったんですか。(事務局より「8回です」と回答) 8回の講師とかは誰が。

事務局～座学の勉強に関しては、講師の先生をその都度呼びまして、アドバイザーの林先生とか蒔田先生とか、あと、県内の他のジオパークの専門員の方いらっしゃいますので、専門員の方をお願いしました。現地に関しては地元のガイドさんが詳しいだろうということで、八峰白神ジオパーク(ガイドの会)の西出さんに相談しまして、まず、西出さんが会長としてやることになりました。

会 員～その辺がちょっといろいろガイドの会の方で、それぞれ得意な分野があるんで、そういうポイントに行った際には、会長に限らず、こういう(得意な)人を呼んでやったほうが、後々、受講者と一緒になる機会があるので、「あ、あの時の先生だな」とか、先輩だな、とかそういう顔合わせもできるんで、その辺は会長だけにこだわらず、その都度その都度やるのであれば、適正な人を講師にガイドの中から選んでも良かったんじゃないかな、と。

事務局～西出さんに相談しまして、「私、会長だし、やります」ということで、西出さんと相談して、じゃあ誰、という形をとっているんですね。なので、ガイドの会の中で話をしてもらえれば、と。

会 員～そういう場合でも下にちょっと降ろしてもらえれば。そこだけで決めないで。

事務局～事務局側とすれば、会長に言って、会長が普通、会の中で相談するのが普通だと思っています。意見は今伺いましたので、この後調整していければ。

会 員～臨機応変に。

事務局～そうですね。

会 員～白神ガイドの会では、元、研鑽会みたいにガイドさんどうして高めていく動きがあったんだけど、お話を聞いてれば、この後こちらの会のほうでも必要になってくるんじゃないかと思うんですが、新人のガイドさんの養成講座が2年に1回だしたら、空いた年は今のガイドさん方がまた学べるような機会を設けるとか。(白神)ガイドの会の研鑽会ってそういう類ではなかったでしょうか。

会 員～スキルアップのため。

会 員～ですよね。それは予算がなくてもできるのでは。

会 員～やろうと思えばできる。

会 員～去年は、自分たち(ジオガイド)の先輩がいないので、ガイドする前に、事前に研修を毎回やっていた。今年もやろうと思えば、新人に対する事前研修をやっていけばできる、けっこうできると思います。

会 員～先輩が新しい人から得ることもいっぱいあると思うので。

事務局～ガイド養成、⑥番がゼロになっていますが、例えばここにいくらか持って、今いる

ガイドの人のための講座というか勉強会のようなものをやればいいのではないかと、という話ですね。

会 員～ジオパーク活性化事業委託費で、実際は無料ガイドなんです。この無料ガイド、最初の頃、年間に40回くらい機会があったので、1回あたり5人くらい出たら200人くらい。200人×3,000円で600,000円だと。1回出たら3,000円ということでやってきたわけです。けども実際、1人か2人ということで今年（令和4年度）30万くらい。今年（令和5年度）はメンバーが増えるので、無料ガイドの中で来た人どうしで勉強会をやったりとか。

会 長～ついでに勉強会になっている、と。

会 員～今年は新人が来るのでそういう形になっていく、勉強会をやっていけると思いますが。予算を出してくれれば一番いいですが。

事務局～ガイドの中で研鑽してもらえれば、ということと、こちらの主催で講座なり先生を呼んで。

会 員～講師料がかかるような先生を呼んでほしいです。

事務局～予算ではゼロとなっていますけど。

会 員～下見等で入るとなれば研鑽会みたいな形でその辺はやれるので。

事務局～今は予算がゼロとなっていますけど、もし必要であれば流用などして、この中でやれば、やってもいいでしょうか。ガイドの会とも相談しながら。

会 長～よろしいでしょうか。それでは議案第4号、令和5年度事業計画（案）、議案第5号、令和5年度収支予算（案）について原案通り承認することでご異議ございませんか。（「異議無し」の声あり）それでは議案第4号、令和5年度事業計画（案）、議案第5号、令和5年度収支予算（案）について原案通り承認されました。次に議案第6号、役員改選についてであります。説明をお願いします。

【6）議案第6号 役員改選】

事務局より説明を行う。（別紙配布）

会 長～新しい役員（案）については、配布したとおりですけども、これについてご異議等ございませんでしょうか。（「異議無し」の声あり）ご異議が無いようですので、議案第6号、役員改選については別紙のとおり承認されました。以上で議案審議は終わりました。

事務局～ありがとうございました。せっかくの機会なので、何か皆さんからありませんか。

会 員～せっかくなので。連休中の無料ガイドを企画していますので、4月30日に鹿の浦展望台でやります。10時からお昼休みをはさんで15時まで。天候が悪い場合は森林科学館。ぶなっこランドは無料ガイドの日は必ず1人～2人行ってしますので、三十釜の方をガイドしますのでぜひ。あと、30日と、今のところ（5月）3日はキャンプ場、7日におらほの館、ということで計画していますので、ぜひ皆さんいらして

ください。人数に余裕があれば留山とか三十釜とか。

事務局～無料ガイドもですけど、できれば有料ガイドも予約していただければ。

会 長～予約が1週間前、とかなんですね。天気を見て判断もあるので前日くらいにしていただければ違うと思うんですけど。(白神ガイドの会の話)

会 員～さっきの委員会、運営委員会には個人会員は入れないですか。

事務局～運営委員会は会長が指名することになっていきますので、会長と相談して。いずれ期限が6月末(行動計画の件)になってるので、それまでに運営委員会を開く必要があるんで、早めに決めたいと思います。

会 員～1個だけ気になってるのが、この資料にも出ていますが、泊の魚岩、あの辺の草を切るとなればどこに話をすればいいんでしょうか。一番気になるのが柱状節理のところの木、結構大きいのでなんともできないんですが、何とかならないでしょうか。去年、モニタリングで1回やるか、という話になってるんですが、事務局で回ってるんですね。そうすると、普段ガイドしてない方が回ってるので、結局気が付いてないと思うんです。モニタリングで回るときにはガイドをつけてもらわないと、気づきが少ないと思うし、草むらで入っていけないとかいろいろあるんですよ。そういうのを把握できるようにしてほしいです。

会 員～海岸部はどこでもあります、ジオポイントというかあると思うんで。椿のところは漁港海岸ですよ。山本地域振興局の管理になってるとすれば。

事務局～海岸部については7月の全町クリーンアップの他に、県のほうで海岸清掃の予算を持ってるので、大きいものはそれで持って行ってもらってできるんですけど。

会 員～ジオサイトは自分たちの職場みたいなものなので。

事務局～よろしくお願いします。それではよろしいでしょうか。これを持ちまして令和5年度の八峰白神ジオパーク推進協議会の総会を終わりたいと思います。皆さん、どうもお疲れさまでした。